



感染症対策に  
アンチウイルススプレーを寄贈  
三菱ケミカル株式会社  
三菱ケミカル株式会社から、グループ  
会社が開発した「アンチウイルススプレ  
ー」(抗菌・抗ウイルス成分含有)を105  
本寄贈していただきました。ありがとう  
ございました。



太田会長(左)から小西教育長に、温度計  
が手渡されました。

非接触式温度計を寄贈  
市PTA連合会  
6月25日、市PTA連合会太田悠一  
長から市内の小中学校へ非接触式温度計  
12台が寄贈されました。  
太田会長は「コロナ対策は学校でも大  
変だと思うので、この温度計を使って少  
しでも学校の負担が減ってくればうれ  
しい」と話されました。



3



1



5



4

7/7  
TUE



2

抹茶の味はいかがかな？  
立言保育所

七夕の日の恒例行事になっている  
『お茶会』で、子どもたちが、茶の湯  
を楽しみました。  
年長組の子どもたちは、和室に入  
ると、深々とおじぎをし、行儀よく  
正座で待ちます。最初に和菓子を入  
れ、茶が振る舞われました。子どもたち  
にも飲みやすいように、少し薄味に  
してあるそうです。少し緊張の面持  
ちで飲んでみると、「苦いけどおい  
しかった」との感想。「アイスみたい  
だった」と、抹茶味のアイスクリー  
ムを思い出した子もいました。

①「足がはやくなりますように」「なわとびがじょうずになりますよ  
うに」「おしをいっぱいつかまいたい」など、思い思いの願いを書いた短  
冊を下げた笹の前で年長組さん。②ちょっと苦かったかな。③お茶  
席の気分を盛り上げるよう、掛け軸も飾られました。④どんな味かな  
？⑤アイスみたい。



2



1

7/17  
FRI

レスキューの技を競う

消防本部

新型コロナウイルスの影響で、全国大会が中止となったため、  
今年度は署内での大会に変更になった『消防救助技術指導会』。  
救助技術の向上を目指して各種競技が行われるもので、今回は  
平成25年から7年ぶりに実施する種目『ロープブリッジ救出』  
です。消防庁舎の2つの訓練塔に渡した20mのロープをつた  
って、対面側にいる要救助者を救出し、自分たちも安全に帰還  
するもの。4人1組6チームが、安全確実性や所要時間を競いま  
す。

見守る仲間たちの「行け！行けー！」という声援が後押しとなり、  
大会は熱を帯びてきました。



4



3

①屋上から見上げて競技を見学。標準タイムは75秒。②救  
助に向かう一心な表情。汗が光ります。③スタートの合図  
とともに、4mのロープでハーネス(安全帯)を作り、自分の体  
に素早く巻きつけます。④安全確保のためにも、要救助者と  
呼吸を合わせることも大切。



6月12日 国土交通省太田川河川事務所が、「小  
瀬川水防災タイムライン」を作成。ギャラリー  
おたけで、大竹市、岩国市、和木町の首長に手  
渡されました。これは弥栄ダムの施設規模を上  
回る災害を想定し、被害の最小化には、どの段階  
でどのような行動をするかをまとめたものです。  
入山市長は「タイムラインをもとに、早めの避難  
を市民に周知していきたい」と述べました。



7月3日 令和4年度未完成予定の大竹駅橋上化と  
東西自由通路の工事の安全祈願が行われました。  
JR西日本広島支社の飯田検査副支社長、入山市長ら  
が、安全を願ってかわ入れをしました。飯田副支  
社長は「未来に向けて、交流拠点となることを祈念し  
ます」と述べ、入山市長は「今、形になるまで  
ご着けた。活力ある拠点となることを期待して  
います」とあいさつをしました。



7月15日 新型コロナウイルス感染症防止のた  
め、人の密集するイベントが自粛されています。  
恒例の「大竹・和木川まつり花火大会」も中止。そ  
んな中でも花火を楽しんでもらおうと、「おうち  
で花火」を実施。3密を避けるため、日時・場所  
はシークレット。2回目となるこの日は、玖波漁  
港で打ち上げられました。75発、約3分間の夏  
の夜空を彩る大輪の花のショーでした。



1

①非接触式の体温計で、入り口で検温。  
問診票に体調も記入。



2



3

②なかなかうまくテントが畳めません。  
③段ボール製の折り畳めるパーテーション。  
体調不良者などの簡易個室になります。

6/25  
THU

旧小方中学校体育館  
f 6月24日、25日の2日間に分かれて、災害時の避難  
所対応の市職員約70人が、避難所での新型コロナウイルス  
感染症対策を学びました。  
避難所に見立てた入り口では、まず検温や体調チェック。  
室内での3密を避けるため、避難者同士の距離確認、部  
屋の換気、体調不良者の部屋分け、折り畳み式のパーテ  
ーションの使用など、今までにない対策を行います。  
テントの設置では、片づけ方が意外に難しく、説明書  
を読みながら四苦八苦。ようやく畳むことができたこと  
からも、日頃の訓練の大切さを実感したようです。

避難所での感染症対策を学ぶ

